



# 山形県感染症発生動向調査

平成30年第37週(9月10日～9月16日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)  
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486  
URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>  
2018年9月19日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~37週
	第36週	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	338 0.07	1 0.02	4 0.08	▲	1 0.05	3 0.15	▲				1 0.10	△					16176
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	7543 2.39	110 3.67	167 5.57	▲	81 6.23	100 7.69	▲	1 0.33	5 1.67	△	24 4.00	52 8.67	▲	4 0.50	10 1.25	△	812
咽頭結膜熱	1045 0.33	9 0.30	6 0.20	▽	3 0.23	2 0.15	▽				6 1.00	4 0.67	▽				696
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4182 1.32	55 1.83	49 1.63	▽	26 2.00	18 1.38	▽				28 4.67	23 3.83	▽	1 0.13	8 1.00	△	3581
感染性胃腸炎	11767 3.72	100 3.33	73 2.43	▽	43 3.31	37 2.85	▽	2 0.67	4 1.33	△	30 5.00	20 3.33	▼	25 3.13	12 1.50	▽	5729
水痘	704 0.22	7 0.23	8 0.27	△		2 0.15	△	4 1.33	2 0.67	▽	3 0.50	1 0.17	▽		3 0.38	△	462
手足口病	3580 1.13	50 1.67	42 1.40	▽	31 2.38	33 2.54	▲	6 2.00	1 0.33	▽	5 0.83	4 0.67	▽	8 1.00	4 0.50	▽	1168
伝染性紅斑	1089 0.34	12 0.40	8 0.27	▽		1 0.08	△	3 1.00	4 1.33	▲	9 1.50	3 0.50	▽				341
突発性発しん	1554 0.49	20 0.67	17 0.57	▽	4 0.31	3 0.23	▽	1 0.33	1 0.33		8 1.33	7 1.17	▽	7 0.88	6 0.75	▼	642
ヘルパンギーナ	5230 1.66	242 ◎8.07	198 ◎6.60	▽	84 ◎6.46	52 ◎4.00	▽	15 5.00	13 4.33	▽	82 ◎13.67	75 ◎12.50	▽	61 ◎7.63	58 ◎7.25	▽	2511
流行性耳下腺炎	380 0.12	6 0.20	3 0.10	▽	4 0.31	1 0.08	▽		1 0.33	△	1 0.17	1 0.17		1 0.13		▼	117
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	651 0.94	1 0.13	4 0.50	△	1 0.25	2 0.50	▲				1 1.00	△		1 0.50	△		92
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	9 0.02																20
クラミジア肺炎	1 0.00																
マイコプラズマ肺炎	108 0.23	2 0.20	1 0.10	▼	1 0.25	1 0.25		1 1.00		▽							106
細菌性髄膜炎	7 0.01																8
無菌性髄膜炎	13 0.03																6

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
腸管出血性大腸菌感染症	患者	2				型別:O103 VT1 1人、O26 VT型不明 1人。
	無症状病原体保有者	2				型別:O103 VT1 1人、O26 VT1 1人。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	肺炎球菌ワクチン接種歴:不明。大人。
播種性クリプトコックス症	患者			1		

## <通信欄>

※トピックスで、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、インフルエンザについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ				2	1				1						
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
															4
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	11	23	56	44	18	9	4			1	1				167
咽頭結膜熱			2	3	1										6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					2	7	8	8	5	5	2	10	1	1	49
感染性胃腸炎		8	11	9	8	6	6	8	4	1	4	8			73
水痘			2	2		3		1							8
手足口病		4	12	9	8	2			1	1	1	4			42
伝染性紅斑				1	2	4				1					8
突発性発しん		4	11	2											17
ヘルパンギーナ	2	19	53	38	25	25	12	8	5	3	1	5	1	1	198
流行性耳下腺炎					1			1	1						3

<平成30年7月 月報>

2018年8月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～7月
	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 15	18	9	12	2		2	4	2	2	131
	定点当り 1.50	1.80	2.25	3.00	2.00		1.00	2.00	0.67	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 7	6	1		1	1	4	4	1	1	58
	定点当り 0.70	0.60	0.25		1.00	1.00	2.00	2.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 5	4	2	2			1	1	2	1	23
	定点当り 0.50	0.40	0.50	0.50			0.50	0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 3	2	2						1	2	19
	定点当り 0.30	0.20	0.50						0.33	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 11	8	1		1	1	3	2	6	5	55
	定点当り 1.10	0.80	0.25		1.00	1.00	1.50	1.00	2.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 22	20	12	10				1	10	9	127
	定点当り 2.20	2.00	3.00	2.50				0.50	3.33	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

RSウイルス感染症 情報

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は全地区で増加し、県平均定点当たり報告数は前週の1.5倍となっています。

- ・第37週 定点当たり報告数(山形県:5.57人)
- 村山:7.69人 最上:1.67人 置賜:8.67人 庄内:1.25人
- ※警報・注意報の基準値は設定されていません。

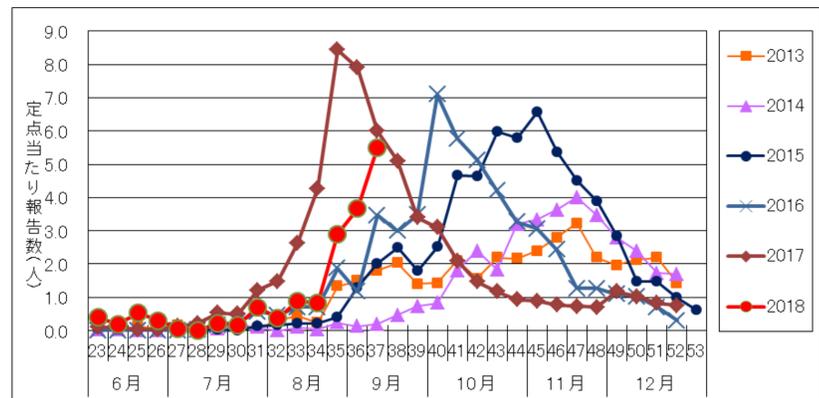
<RSウイルス感染症とは>

RSウイルス感染症は、乳児によくみられる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は4～6日、症状は軽い風邪様の症状から肺炎まで様々です。2歳までにほぼ100%の人が感染し、生涯にわたり何度も感染と発症を繰り返します。初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に新生児や生後6ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染などがあります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有用です。



<年別 定点当たり報告数の推移(山形県)>

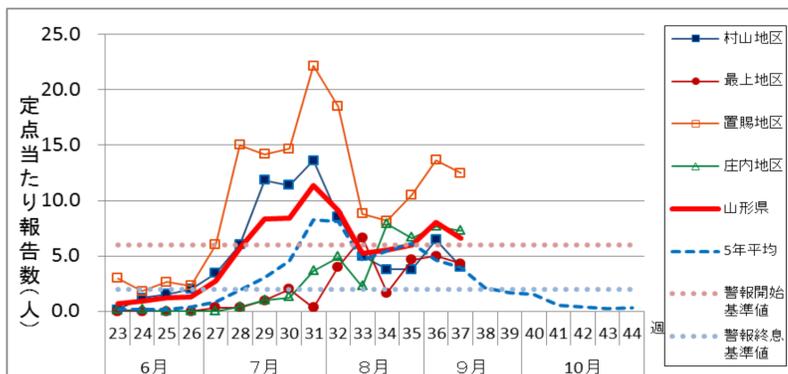


ヘルパンギーナ 情報

ヘルパンギーナの県平均定点当たり報告数は、9週連続で警報レベルとなっています。地区別では、村山地区、置賜地区、庄内地区が警報レベルとなっています。

- ・警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人
- ・第37週 定点当たり報告数(山形県:6.60人)
- 村山:4.00人 最上:4.33人 置賜:12.50人 庄内:7.25人

<地区別 定点当たり報告数の推移(山形県)>



インフルエンザ 情報

インフルエンザの県平均定点当たり報告数は0.08人でした。

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

A型: 4件(村山地区 3件、置賜地区 1件)

2 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ)

村山地区:2件\*(小学校 1、保育園 1)

※措置ありと措置なしの合計



3. ウイルス分離・検出状況(山形県衛生研究所)

今シーズン(2018年36週～)の山形県内のインフルエンザの患者から、AH1pdm2009が2件検出されています。